



2018年

新年あけましておめでとうございます。

去年は、いろいろと大変お世話になりました。

今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

赤磐市議会議員 福木京子

12月議会が、11月27日から12月18日まで開かれました。9月議会のことも合わせて、主なことをご報告します。

市民団体から2つの請願が、12月議会に提出され、審議されました。(紹介議員・福木京子)

世界の情勢、被爆者の思いに応えられ なかった赤磐市議会！

「日本政府に核兵器禁止条約の調印を求める意見書採択を求める請願」

赤磐市議会は、総務文教委員会で2：3で不採択にすべきとなり、最終本議会で、賛成と反対が、8：8になり、議長採決で不採択になってしまいました。(1議員が欠席)

請願内容は、「広島と長崎にアメリカの原子爆弾が投下されてから72年を経た今年7月7日、ついに核兵器禁止条約が採択されました。・・・このように、核兵器禁止条約は、被爆者とともに我々国民が長年にわたって熱望してきた核兵器完全廃絶につながる画期的なものであります。・・・9月20日には核兵器禁止条約の署名が開放され初日には50カ国が署名しました。私たちは日本政府がすみやかに禁止条約に調印することを求め関係機関に意見書をあげていただくことを請願します。」となっています。

福木議員は、今年のノーベル平和賞にNGO「核兵器廃絶国際キャンペーン」ICANが受賞され、オスロでの被爆者のサーロー節子さんの演説を紹介しました。世界の情勢からも、また高齢になっている被爆者の思いに応えるためにもぜひ賛成していただき、国に意見書をあげまじょうと訴えました。残念な結果ですが、さらに運動・世論を広げていきましょう。

賛成議員 (永徳、佐藤武、佐々木、保田、原田、福木、岡崎、下山) 席順 *議員は略称

反対議員 (大森、光成、大口、治徳、松田、北川、佐藤武文、実盛) 席順 *議員は略称

*行本議員は欠席、金谷議長は賛否同数の場合採決に加わる。

学校給食の民間委託はどうなるの？



12月議会では、多くの市民のみなさんが傍聴に来られました。特に、桜が丘地域の女性のみなさんが、本会議や総務文教委員会を傍聴され、学校給食の民営化がどうなるのか、その行方を見守りました。

議案は出ていませんが、一般質問や委員会で取り上げられ、議論されました。市長・教育長の答弁は、行財政改革のことを一番に挙げ、予算を削ろうとしています。

調理、配送、洗浄などを一部民営化することを検討するという答弁は9月議会から変わっていません。

9月議会では、学校給食の民営化について、北川、下山、福木の3議員が一般質問しました。

福木議員、9月議会で「学校給食の民間委託について」質問

学校給食は教育の一環、民営化は教育にふさわしくない

質問 学校給食は、関係の職員が力をあわせ、子どもたちにおいしい給食をつくる教育の一環の仕事です。民間委託については時間をかけて、PTAの方々の声をしっかり聞いて、それから判断すべきです。民間委託は、給食費、人件費の削減がされることが目に見えています。職員間の連携がたもたれなくなります。

行財政改革のためとって将来を担う子どもたちの教育を安上がりにしようという発想は許されません。

給食運営委員会では、すでに民間委託の話が出され、津山市と美作市に視察にまで行っています。総務文教委員会には諮ってなく、議会軽視です。

岡山市で今年4月に民間委託で調理員が集まらないため、急きょ別な給食センターで作って間に合ったという問題が起こっています。地産地消もやりにくくなります。

市長・教育長の答弁 行財政改革の理念から、職員の定数管理により正職員を採用せず、再任用調理員及び臨時調理員を補充して対応している。

検討に当たっては、学校給食共同調理場運営委員、PTA、学校関係者等へ十分な説明を行い、ご意見をお聴きしながら慎重に検討していく。

今年の8月の運営委員会では、食の安全性の確保、アレルギー対策などのご意見をいただいている。十分な検討期間が必要であるとの意見もある。岡山市の例は今後検討の材料としたい。

*** 12月議会での北川議員の一般質問**では、「民間委託するために、すでに2年前から一般職の試験を受けないかと打診しているようだがどうか。職員は不安になっているが」との質問に、**市長・教育長**は、「今後、退職者が平成29年度1人、平成30年1人、平成31年2人おられる。職員の管理については、この手法もある。職種の変更は何人かいる。自分の思いで試験を受けてもらっている。」との答弁でした。

給食センターの実状

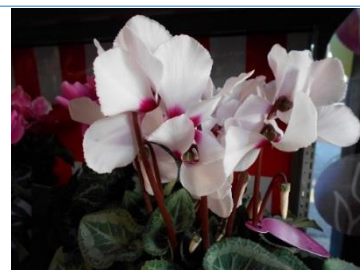
| | | | |
|----------|------|---------------|-----------------|
| 中央給食センター | 1日最大 | 1400食 | 調理員（正6人、臨時11人）、 |
| 東給食センター | 1日最大 | 2800食（毎年増加傾向） | 調理員（正9人、臨時14人）、 |
| 吉井給食センター | 1日最大 | 270食 | 調理員（正2人、臨時3人） |

これでは、民間委託ありきで進めているのではないかと疑われます。関係者へしっかり説明し、意見を十分聞いて進めるという答弁を守ってもらいたい。

12月議会・福木京子議員の一般質問

1、太陽光パネル設置の赤磐市独自の条例を作れ！

～自然豊かで景観もよく、多種類の生



き物がある岩田大池にパネルはいらない～

質問 山陽地域の岩田大池に面積の6～7割も占めるような太陽光パネルの設置がされる動きがある。

この池は自然豊かで、景観もよく、生き物も何種類も生息している。

防災機能もあるこの池に設置すべきではない。

また、桜が丘東地域の住宅地にパネルが増えている。作る場所を考えないと地域住民は安心して暮らせない。ぜひ赤磐市独自の規制条例を作るべきだ。

市長答弁 関係法令等により環境等を保全する一定の制限がかけられている。市独自の新たな条例は難しい。今後も周辺地域の方々のご賛同や環境への影響等を考慮しつつ、事業者への対応をしていく。

2、高校生の通学費補助を早く

質問 高校生への通学費補助について、何人もの議員が質問している。市も出来るだけ早く実現させたいとの答弁をしている。来年4月から実施する考えはないのか。

市長・教育長答弁 教育委員会で検討を続けている。赤磐市にあった補助要件、補助金額等、公平で適切な制度にするべく検討している。出来るだけ早期の実施に向け素案を作成、担当委員会等にお諮りする。

3、新規就農者への支援を（是里に直ぐ借れる住宅を）

質問 現在、是里で若者が新規就農でブドウ作りに頑張っている。もう少し声かけして新規就農者を増やしたいが、直ぐ借れる住宅がないので、躊躇している状況がある。

久米南町等では、以前から住宅支援を行っている。ぜひ赤磐市でも支援をすべきではないか。

前からの続き

市長答弁 市では、第2次赤磐市総合計画で重点施策と位置づけている。是里の事案は把握している。提案については、今後他市町村の支援状況も参考にして、どのような支援が有効であるかをふくめて検討していく。



4、子育て支援の充実を（児童館設置、保育園増設を）

質問 桜が丘地域では、急速に子どもの数が増えている。山陽児童館は、利用を制限するくらい多くなっている。桜が丘地域にも児童館を設置すべきではないか。

また、待機児童が出てきているので、将来的にもう1つ保育園が必要ではないか。

市長答弁 桜が丘地域には、子育て支援センターが2ヶ所ある。拠点となる施設が必要と認識している。地域の方々、保護者、関係者のご意見に耳を傾け模索していきたい。保育園では、保育士不足のため、受け入れが不十分である。潜在保育士の確保に向け努力していく。

***児童館とは、子どもの健全な遊びを提供し、心身の健康を増進し、情操豊かにする児童厚生施設。**

赤磐市民病院跡地（熊山地域・松木）の高齢者施設

赤磐市複合型介護福祉施設整備工事を7億5708万円で、大和リース（K）岡山支店・（K）ユー・ディ・ディ設計特定建設工事合同企業体と請負契約が可決。

既存の建物を解体し、通所介護やサービス付き高齢者向け住宅、地域住民に開放した交流スペースなど備えた施設を新築する。2018年度中の開設を目指す。

「農業者戸別所得補償制度の復活を求める請願」

この請願は、産業建設委員会では、賛成：反対は、4：1で採択すべきとなっていました。最終本会議で、5：11で不採択になりました。

請願趣旨は、「・・・平成22年に始まった『農業者戸別所得補償制度』は、・・・多くの稲作農家の再生産と農村を支えていました。平成25年から『経営所得安定対策』に切り替わり、26年度から10アールあたり7500円の交付金へ・・・30年度から廃止されようとしています。・・・当面、生産費をつぐなう農業者個別所得補償制度を復活させて、国民の食糧と地域経済、環境と国土を守ることを求めます。」となっています。

農業の厳しい現実がある中で、農業者の声が届く議会ではなくてはなりません。残念ですが、さらに運動・世論をひろげましょう。

賛成議員（佐藤武、佐々木、原田、福木、岡崎）席順 *議員略称

反対議員（永徳、大森、光成、保田、大口、治徳、松田、北川、佐藤武文、下山、実盛）

席順 *議員略称 *行本議員は欠席